

申請内容

登録の区分		認証
全般	申請者名（認証取得者名）	株式会社都田建設
	申請代理事業者	株式会社ウェイストボックス
	事業者の主な事業内容	木造注文住宅建設事業
	申請案件の要旨	株式会社都田建設はこれまで事業所での電力使用量を 100%グリーン電力化したり、市民と一体になってエコイベント（クリーンリバー活動等）を実施するなど環境保全活動を行ってきました。2014年にはスコープ1、2およびスコープ3の一部（営業活動・出張、雇用者の通勤）を含めた排出量の把握を行い全量オフセットすることでカーボン・ニュートラル認証を取得しました。その後2015年、2016年、2017年と継続して認証を取得しています。今後もカーボン・ニュートラル企業として地域・世界に発信していくため、今回認証を継続する申請をします。
	組織等の境界	都田建設株式会社（法人単位）  （本社事務所、打合せ棟、ウキウキ棟、ショップ、駐車場、倉庫、東倉庫、ライフスタイルデザインセンター、都田駅カフェ、アイデア棟、BBQ小屋、ノルディックデリ、ガラスハウス、新倉庫/コンテナ、公衆街路灯）、白のMINKA-A棟、白のMINKA-B棟、オリジナルハウス、トイレ
	活動の境界	【スコープ1】 燃料の燃焼 【スコープ2】 他人から供給された電気 【スコープ3】 出張、雇用者の通勤
	算定対象範囲	スコープ1、スコープ2、スコープ3排出量
	CN対象期間	2017年3月1日～2018年2月28日
	CN計画期間	-
	基準年	2016年3月1日～2017年2月28日
	認証の有効期間	2018年8月1日～2019年7月31日
	認証ラベルの使途用途	広告物やWEBへの掲載による情報宣伝
	排出量の認識	算定対象範囲における温室効果ガス排出源
算定方法		・燃料使用量×単位発熱量×排出係数 ・宿泊費×排出係数 ・交通費×排出係数 ・移動距離÷燃費×単位発熱量×排出係数  排出係数参照元 環境省 カーボン・オフセットの対象活動から生じるGHG排出量の算定方法ガイドライン 環境省 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 国立環境研究所 産業連関表により環境負荷原単位データブック
基準年排出量		347 t-CO2
対象期間排出量		372 t-CO2
（任意）スコープ3排出量の算定結果		
排出削減	組織等の境界内における温室効果ガス排出削減の取組	・リサイクルの可能性を追求 （建築廃材の木材を薪として再利用、紙、缶などの再資源化の促進、生ごみの堆肥化など） ・できる限りエアコン使用を低減し電力使用量の削減

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業車のエコドライブ（アイドリングストップ等）の実施による燃料使用量の低減</li> <li>・住まい作りにおいて自然環境、素材を取り入れた住環境を提案</li> <li>・クールビズ・ウォームビズの推進</li> </ul>
	（任意）組織等の境界外における申請者（認証取得者）自身の排出削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利益の1%を自社に地球税と課し地球環境保護団体に寄付し支援する</li> <li>・家づくりのLCA手法によるCO2排出量の把握および新築住宅のカーボン・オフセット</li> </ul>
	（任意）スコープ3排出量の削減の取組	自転車通勤を推奨
埋め合わせ	認証制度名	<ul style="list-style-type: none"> <li>①J-クレジット制度</li> <li>②オフセット・クレジット（J-VER）制度</li> </ul>
	クレジットの種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>①J-クレジット</li> <li>②J-VER</li> </ul>
	プロジェクト名（プロジェクト実施国・実施地域を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>①愛知県 高効率ヒートポンプ導入と既設暖房機との併用運転による省エネ事業</li> <li>②岐阜県 東白川村森林組合の「FSC認証林」間伐プロジェクト ～つちのこ村で、環境にやさしい里山づくり～</li> </ul>
	プロジェクトタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>①省エネ設備更新</li> <li>②森林吸収</li> </ul>
	無効化日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①2018年6月18日、2018年7月23日</li> <li>②2018年6月18日</li> </ul>